講演会

テーマ：

２０３０年代、
地方公立美術館の
サバイバルに向けて

来春、現在の地での安藤忠雄建築で 25 周年を迎える兵庫県立美術館。
コロナ禍後の 2023 年春より務める館長が、
マネージメントとキュレイションに奔走する日々を語ります。

講 師：　林（はやし）　洋子（ようこ）　氏

【兵庫県立美術館　館長】

日 時：　１１月１２日(木)　１３：３０～１５：００

場 所：　関西学院大学　神戸三田キャンパス
Ⅱ号館　２０１教室

主 催：　総合政策学部研究会・総合政策研究科ﾘｻｰﾁ･ｺﾝｿｰｼｱﾑ

【※文化政策論（担当：津田）の振替授業とします】

講師紹介

・東京都現代美術館 学芸員、京都造形美術大学 教員、文化庁芸術文化調査官を経て、2023 年 4 月より兵庫県立美術館 館長。
・近年の主な企画展に、『没後 50 年　藤田嗣治展』(2018－2019、東京都美術館、京都国立近代美術館、パリ日本文化会館)、『藤田嗣治×国吉康雄　二人のパラレル・キャリア』(2025、兵庫県立美術館)、『松方幸次郎・山村徳太郎 蒐集のパッション』(開催中、兵庫県立美術館)。
・主な出版に『藤田嗣治作品をひらく』(2008、名古屋大学出版会)、『藤田嗣治　手しごとの家』(2009、集英社新書)。

お問い合わせ先：関西学院大学総合政策学部（神戸三田キャンパスⅠ号館事務室）
三田市学園上ケ原１番　　TEL. 079-565-7601